

To build may have to be the slow and laborious task of years.
To destroy can be the thoughtless act of a single day.

Winston Churchill

政治とは、皆さんが納めておられる大事な税金の使い道を決める話。経済成長が停滞し、財源が限られ、あれもやります、これもやります、ができなくなりました。

保育園民営化は摩擦を生むならやらない方がいい、公共施設も近くにあった方がいい、手厚いサービスもたくさんやった方がいい。でもそ

れじゃ財源がもたないから。高齢者福祉と障碍者福祉の必要経費はますます増え続け、市民病院の建替えや各地の開発、上・下水道・ごみ処理施設などの老朽化に伴う更新、市営住宅の建設などで公共事業費も莫大です。おそらくほどに。そんな状況だから「選択と集中」が必要です。

築き上げることは多年の長く骨の折れる仕事である。
破壊することは、たった一日の思慮なき行為で足る。

ウインストン・チャーチル

アタック29足立ノブカツ だいせいほうこくかい

せいほうこくは市政報告であり、至誠報告でもあります。1期目の集大成。25歳で市議会議員を拝命して4年、なにを考え、なにを感じ働いているのかをお伝えします。政治は皆さんの税金の使い道の事です実はとても大事。「楽しくわかりやすく」をモットーにプレゼンします。

堅苦しい場ではございませんので私服で気軽に越しください。初めての方も学生さんも気兼ねなくどうぞ。

平成27年4月13日(月)
19時～20時半
於:メイシアター 小ホール
(阪急吹田駅すぐ)

プロフィール



あだち のぶかつ
足立 将一
昭和60年11月5日生
三人兄弟の次男
大阪桐蔭中・高
神戸大学法学部
(株)ウッドハウス

平成23年4月の市議会議員選挙で最年少25歳で初当選。1期目ながら議会改革特別委員会委員長や百条委員会委員を務めるだけでなく、本会議や委員会での積極的な発言や議案提出など圧倒的な活動量で吹田の政治を良くするために奮闘中。

事務所: 泉町2丁目47-28(ライフ泉町店正面)
E-Mail: nobukatsu.adachi@gmail.com

伊勢神宮まで歩いて参拝チャレンジ達成
歩いて行こうお伊勢さん 検索

吹田市議会議員・吹田新選会
足立ノブカツ
信取り戻す。

ハコモノ、ただの削減ではなく。

現在吹田市には350強もの施設があります。このまま維持しようとすれば30年間で約1800億円、年間約60億円かかると試算されています。(現在10億円程度)

公共施設が充実していることは吹田の強みです。しかし財政面を考えた場合、今後「削減」という選択が濃厚です。その時には単に減らすのではなく、

- ①『小学校区・自治会』単位での再配置
- ②複合施設にする際に設計や建築の工夫

③利用目的の緩和

によって利便性や満足度を維持しながらどの世代も使いやすく、交流できる環境を整えることが大切です。

公共施設には、気軽に立ち寄ることができる「ゆるさ」の概念を取り入れ、人と人が繋がる地域コミュニティの場としての演出が必要です。吹田の強みである施設、みんなが楽しく使えるものにしたいのです。

安心・安全、ハード面は市の責任ですから。

吹田市は安心安全の街づくり宣言をしているので、それにふさわしい態勢を整えるべきです。日常生活では防犯パトロールや子ども見守り隊、防犯カメラ設置など、様々な方のご協力で防犯意識の高いまちづくりが進んでいます。

防災も、自主防災組織の拡大や防災講座受講、防災リーダー育成や津波洪水避難ビル増加など地域力が高まっています

問題はハード面。防災無線拡声器はたった16機しかなく、合同防災訓練でも聞こえないという声をいただきます。

災害発生時の情報収集、伝達についてもネットやSNSの活用が必要です。公共施設に耐災害性の無線LANを設置することで市民の連絡手段を確保することもできます。いずれもお金がかかりますが、いざという時に命を守れてこそこの行政です。

子育てするなら吹田、でしょ？

あるお母さんから「子育てするなら吹田って聞いたけど、それでもないよね」と言われました。ショック。でも北摂の近隣市を見ているとたしかにそうなのです。広報が苦手な感じもあります。

もちろんいいものもいっぱい。だからこそ子育てを応援する姿勢をもっと押し出してアピールする必要があります。

子育て支援については、乳幼児を抱えた方に対する窓口でのご協力といった小さなことから情報提供、公園や施設の在り方、病児病後児保育や、発達面で経過観察が必要な児童へのフォローなど、できることが山ほどあります。すべてのママを対象とした施策展開を。再び「子育てするなら吹田」と呼ばれるために。

人材こそ日本の資源。

アジアの発展により人件費の安い優秀な人材が増えています。豊かな日本を維持するために、なにより教育が重要。日本の最も重要な資源は人材ですから。

公教育では①基礎学力②心を養う③体力をつける。この3つが重要だと考えます。特に学力は、放課後学習の拡充などにより、どんな子供でも希望がもてる環境づくりが必要です。家庭教師の経験上勉強がわからない子供に対しては、手を

打つのは早ければ早い方がよいのです。基礎学力の向上にはまず国語力を磨くことが肝要です。語彙を増やすためのカリキュラムやたくさんの本と触れ合うための学校図書館充実。心を養うために論語などの古典と触れ、人としての在り方を考えるきっかけづくり。体力づくりはスポーツ選手の指導による楽しむ環境整備など。

公教育でも選んでいただける吹田に。

交通施策、ピンチをチャンスに。

万博記念公園周辺の大型商業施設と新スタジアムの建設に伴い発生が懸念されるのが交通渋滞。事業者は公共交通の利用促進により対策すると説明します。市は「万博周辺にぎわいを吹田全域に」という政策方針を打ち出しています。

であるならば開発に伴い増加する税収入の一部で、主要地域やJR沿線からシャトルバスを運行するなど、積極的な事業展開をすべきです。「土木工学」の専門的知見を活用し、車が無くても市内全域を気軽に楽しめる交通施策を行うことがにぎわいを創出します。

環境を変える議会改革。

議会のネット中継や議会質問の一問一答形式導入、情報公開等、この4年で議会改革が徐々に進んでいます。次は議会報告会の開催に着手しています。市民に姿を見せ、働くなければ淘汰される、そんな環境に議員を置くことこそ、市民の役に立つ議会にする為の本当の改革です。

時代に合った平和教育。

吹田市は非核平和都市宣言をしています。隣国からの圧力やイスラム国問題など世界情勢が厳しくなっているからこそ平和を守るために具体的な方策を考えなければなりません。

平和学習は、戦争の悲惨さをつたえるだけではなく、なぜ戦争が起ったのか戦争にならないためにはどうすればいいのかを自分の頭で考える事が大事です。そのためにはきちんと近現代史を学び、現実的な議論ができる教育が必要です。

想いを継ぐまちづくり。

吹田市には竹林の緑地帯があります。ニュータウン開発の際に当時の方がその時の風景を今の私たちに残してくれたのだと考えています。たくさんのボランティアの方々のおかげで竹藪が竹林に変わり、春には筍掘りもできています。竹林緑地帯を遊歩道で繋げることで吹田の新スポットを作りたい。今ある資源を磨くことでまちの魅力を高めたいのです。